

1 年生になったら…

榎場 雅子

（臨床心理士・精神保健福祉士）

明日は雛まつりという、春の気配そこはかとなない穏やかな日の夕べのことでした。その穏やかさとは裏腹に、大阪豊中市の森友学園の幼稚園で、園児が横一列に並んで、教育勅語を誦んでいる映像を見て、ショックを受けた、ひとりのお母さんの純粋な心の叫びともいうべき物語です。それは、国会でも激論されている政治問題でも、学識経験者が論じる教育理念でもありません。市中に住み、幼児期の子どもを持つ母親、市民ならではの角度から見た、机上では思いもつかないような気づきであり、心の叫びです。

娘は保育園の年長組で、もうすぐ卒園、4 月には入学を待つばかりの幸せな時を過ごしています。父親は交通事故の後遺症で足に障害を持っているので、私が生計を支えるためフルタイムで勤めています。けれど家庭は決して暗いものではなく、夫はハーフ勤務の傍ら、料理も掃除もその腕前は私より上手です。娘もなついています。しかし育児一切を任せることもできず、娘は生後 6 カ月のときから保育園のお世話になり、離乳食、おむつはずしなどまで、すっかりご指導いただきました。「保育園落ちた。日本死ね!」などと言う言葉が国会でも取り上げられる社会にあって、私どもの家庭では、保育園は乳飲み子の頃から、6 歳になった今日まで、親もおよばない細やかな心遣いと、実践で、育てて頂いたことについては、「感謝」と言うほかに言葉を知りません。

そんなときに、大阪の豊中の森友学園の幼稚園の園児たちが、うち揃って難しい教育勅語を何の淀みもなく、誦んでいることに、ただただ驚き、感心してしまいました。恥かしいことですが、私は教育勅語については全く無知の状態でした。漏れ聞くところによると、親に孝行、兄弟仲良く、友を信じ、学に励み…などと、良いことづくめですが、私が心を打たれたのは、その内容ではなく、4 歳や 5 歳の子どもが、長たらしい意味もわからないような勅語を、一言半句もらさずに覚えた、子どもの記憶力といおうか、それを引き出した指導力といおうか、その双方か、感心というより、不思議な思いです。娘の通う保育園では思いも寄らないことです。そうは言っても、私は娘が通う、保育園には感謝こそすれ、不満など露ほどもありません。先程も言ったように、娘は卒園、入学を待つばかりの、幸せいっぱいするときです。それは私も母として同じです。だって、親子ですもの。私って甘いでしょうか。浅はかでしょうか。娘は入学を前にして、自分の名前を書けるようになり、ひらがなは大方は読め、短い絵本もひとりで読めます。何よりうれしいのは、お友達も大勢でき、仲良く遊べるようになったことです。

ところが、そんな私を驚かせたのが、入学前の子どもを持つ母親の多くは、私学に入れようか、公立にしようか、一度は悩むと言います。「私高公低」などと言う言葉も罷り通っていることです。それは名だたる学校の児童、生徒の学力のほどを示した言葉ですが、私は今までそんな事は一度も考えたことがありませんでした。そんな私は母親として甘いのでしょうか。浅はかなのでしょうか。何も知らずに、赤いランドセルを、お雛さまの横に置いて、時には背負ってみて、はしゃいでいる娘の姿を見ると、哀れでなりません。単純で浅はかな母親の私を責められてなりません。

ずばりお答えすれば、お母さんは決して単純でも浅はかなどと卑下する母親像でもありません。逆に、良い意味での、「日本のお母さん」の姿を思い出させてくれる母親像です。障害を持つ夫を支え、生計を立てるためフルタイムで働き、子どもの成長を何よりの喜びとして、決して高望みはせず、しかし子どもの心には、しっかり向き合って、日々を過ごしておられます。そんなご自分を好きになってください。ご自分を誉めてあげてください、と先ずはストレートに伝えました。

その上で、「私高公低」ということについて、一緒に考えました。不勉強なことですが、私自身、その言葉については、あまり馴染みはありません。しかし、その意味するものについては、現在の、受験中心、偏差値偏重教育体制の問題を露呈しているように思いました。中学・高校の受験地獄の問題も絡んで、大学まで続いている私立を受験させたい親の意向が働いているように思いました。中学、高校の、心身共に発育盛りで、多面的な分野で多彩なものを取り入れながら、成長していく大事な時期に、無味乾燥な受験勉強だけに終わらせたくないという考えには、一理あると思います。そのためには、子どもの発達に関わる、基本的な問題として、幼児期からの心身・社会性の健康な発達に留意しなければなりません。家庭で親との情緒的な結合、同年代の仲間と交わる社会性など、幼児期の発達に関わる基礎がしっかりしていないと、表層的で、お受験的な英才教育を行っても、学童期、思春期にその脆さが露呈し、さまざまな心理的、社会的、教育的な問題が生じかねません。昨今、問題になっている不登校、いじめの問題なども、その一つとさえ言われています。

ここで問題を元に戻して、ご相談いただいた山本さん（仮名）宅の悩みにふれて考えました。山本さん宅では、ご両親は睦まじく互いに助け合い、子どもの養育についての意見も一致しており、子どもも親になついで家族の情緒的結合は良好です。本人の知的発達についても自分の名前を読んだり書いたりでき、ひらがなは全部読め、絵本なども自分で読めるようになって、文字言語の習得、知識欲も旺盛となっていることも窺わせています。何よりもうれしいのは、お友達が増えて遊びが広がったということです。遊びを通して、チーム、ゲームとか、ルールのあることを学び、社会性が身につけていきます。このように考えると、入学前の心身の発達は、すべて整っていると行って間違いありません。お母さんとしては、これ以上に、望むことは何ひとつないと思います。今さらに、森友学園の幼稚園の園児が教育勅語を誦んじて唱和していたことには拘ることはなく、「娘は卒園、入学を待つばかりの幸せいっぱいときです。それは私も母として同じです。親子ですもの」と言ったお母さんの心を大切にしてください。明日は雛まつりです。卒園、入学の前祝いともなる、楽しい雛まつりを家族で楽しんでください、と伝えました。そして、私共からのプレゼントとして、NHK短歌の入選の秀歌を紹介しました。

○ たから箱 開けるがごとき 始業式 一年一組 三十五人
こんな生き生きとした優しい先生が待っていてくれるといいですね。

〈こころの電話相談室〉

心の悩み、心のケア、心の健康に関する電話相談室をご利用下さい。

相談日 毎週木曜日 午前9時～午後9時

相談担当 榎場主任相談員 電話番号 04-7100-8369 個人情報厳正に取り扱います。

〈真の生きていく力とは〉 ◆子どもの年齢の理解力に応じた指導内容であり、ピグマリオン効果に惑わされず、子どもの将来、自分の生き方に自己決定ができるような力のつく学校教育・家庭教育であってほしいのである(y)。受験勉強も教育勅語も良いではないですか。教育の目的? しっかりと学問を収め、知識や技能や教養を深め、自立する。常識と適応力を備えて、社会に役立つ人間になる。先人曰く「一身獨立して一國獨立する…。獨立の氣力なき者は國を思ふこと深切ならず」と(h)。 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業(申込中)